

教育な が れ や ま

第 78 号
編集発行 流山市教育委員会
TEL 04 (7158) 1111

“いま大事なこと やるべきこと”を丁寧に

流山市教育委員会教育長 田中 弘美



「めげない ぶれない あきらめない」

人が強くなるためには、夢と希望と目標は不可欠
人生の試練を乗り越える時、自分を常に鼓舞してきた言葉

新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本だけではなく世界中が苦しい、辛い時期を送り、我慢をしています。未だ収束する気配のないウイルスに、日々悩まされています。

子どもたちの教育活動の場である「学校生活」においても、今まで想像もしたことがない対策を講じながら日々の学習、活動を行っているのが現状です。

「めげない ぶれない あきらめない」は、横芝敬愛高等学校 白鳥 秀幸校長先生の言葉です。

白鳥校長先生は、「学校は人生百年の『生き抜く力』の育成を目指し、辛い時こそ夢と希望、そして目標を見失わないこと」、また「辛い時こそ人の心の痛みを理解して、もう少し我慢して、家族、友達、同僚、地域の人と協力し合い、助け合って試練を乗り越える」と綴っていました（「コロナと闘う房の人」千葉日報より）。

今まで当たり前と思っていた生活が送れなくなり、日常がガラッと様変わりしてきた日々の中で、休校措置をとりました。その間、節目となるべき行事の縮小や中止を余儀なくされました。

長い空白期間後の分散登校、そして一斉登校、と感染状況を確認しながら段階的な方策を打ってきました。

学校再開後の子どもたちの登下校、学校での学習や給食の様子を見る限り、学校という場が子どもたちにとって、どれだけ大切な居場所であるかを再確認することができました。

お互いのことを考え、ソーシャルディスタンスをとり、授業においても静かに手を挙げ意思表示をする姿や教職員による給食の配膳のもと、おいしそうに完食する姿。そして、以前と変わらず「こんにちは」と元気よくあいさつをする姿など。

学校が再開したとはいえ、今までのような日常生活とは違った制限のある日々を子どもたちは送っています。「元気にあいさつをしましょう」と普段から言われていることも、「今回ばかりは…」と子どもなりに気遣っている姿を見ると、胸が締め付けられるような思いになりました。

今回の経験を通して、子どもたちは、学校も社会の動きに影響されることなど、多くのことを学ぶ機会を得たことは確かですが、その反面、不安や困り感が増幅していると感じます。

そのような子どもたちの苦しさ、辛さを軽減するためには、まず私たち大人が「めげない ぶれない あきらめない」（平常心）で、子どもたちに関わることが一番大切ではないでしょうか。

些細なことも見落とさずキャッチをし、子どもの気持ちに寄り添っていくことが求められていると痛感します。そして、今一番大事なことは、子どもたちに「学校生活を楽しむ仕組みをつくる」力をつけることであり、そのためには、教職員をはじめとする身近な大人が「めげない ぶれない あきらめない」格好良い大人の姿を見せることが大切ではないかと思えます。

今まで以上に、学校、家庭、地域との強い連携と関わりが必要です。子どもたちが夢と希望を持って学校生活を送れるように保護者ならびに地域の皆様のご理解、ご協力、そして温かいご支援をよろしくお願いいたします。

◇ フレッシュ先生からのメッセージ!! ◇

今年度は、小学校39名、中学校15名の先生が着任しました。その中で、小・中学校の代表の先生に今の思いを語っていただきました。

◇流山市立八木北小学校 中村 正喜教諭◇

通常登校が始まり、子どもたちが元気にあいさつする姿や一生懸命に学習する姿を見て、教師という仕事の素晴らしさを改めて実感しました。自ら進んで学ぼうとする「主体性」、時と場に応じた「規律」、お世話になっている家族や地域の方々への「感謝」の気持ちを大切に指導していきます。明るい未来を切り開いていく子どもたちのため、一人ひとりに寄り添い、笑顔で学校生活を送れるように全力で頑張っていきます。



◇流山市立南部中学校 土屋 拓未教諭◇

幼い頃からの夢であった教員になれた喜びを、元気に生活する子どもたちの姿を見て日々感じています。同時に、教師としての責任を一層強く感じるようになりました。経験の少ない私が今できることは、謙虚な気持ちを忘れず、どんなことでも学ぶ気持ちをもって取り組むことです。たくさんの先輩方が未熟な私に気さくに声をかけてくださいます。そんな先輩方に感謝すると共に、一日でも早く子どもたちに愛され、慕われる先生になれるよう、この一年間を大切にしていきたいと思います。

◇ ウェブページによる授業動画配信 ◇

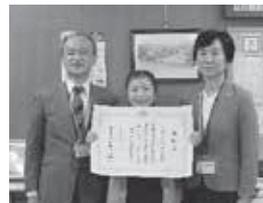
新型コロナウイルス感染症予防による、臨時休校が長期間となりました。流山市では、休校期間中の児童生徒の学習保障のため、4月27日(月)から6月30日(火)までの約2か月間、授業動画とワークシートを特設ウェブページ上で配信しました。

授業動画やワークシートは、教育委員会と市内小中学校が分担して作成しました。配信した動画の種類と数は、小学校1学年から4学年の国語・算数、小学校5・6年の国語・算数・英語、中学校の国語・数学・英語のそれぞれ2単元分、合計167本です。配信期間中の動画再生回数はいくつもの10万回を超えるなど、流山市の児童生徒の学習へ向かう意欲的な姿勢がうかがえました。今後も、様々な場面でのICTの活用を模索しながら、さらに一層の教育活動の充実を図ってまいります。



◇ 江戸川台小学校が「子どもの読書活動優秀実践校」として表彰 ◇

令和2年6月19日(金)、教育長室で表彰式を行いました。本来は、令和2年3月に表彰式が開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったため、教育長室で表彰式を行いました。江戸川台小学校は、平成30年度と令和元年度に実施した読書推進活動が高く評価され、文部科学大臣から表彰されました。江戸川台小学校では、児童が本に興味を持つきっかけとなるようにと、いたるところに「ミニミニ図書館」を設置するなどの読書推進活動を行っています。これからも図書館を積極的に活用した読書活動を推進していきます。



◇ 流山小学校入学式 ◇

4月9日(木)に流山市立流山小学校で、「入学式」が行われました。桜が見える校庭に並ぶ新1年生達。新型コロナウイルス感染症の影響で、座席の間隔を広げるなど感染予防対策が十分に行われた中での挙行となりました。最初は緊張していた面持ちの新1年生達も、式が始まり、校長先生のお祝いの言葉を聞くと、次第に笑顔になっていく様子が見られました。保護者や教職員に見守られながらの「青空入学式」となりました。ご入学おめでとうございます。



◇ いじめ防止相談対策室の開設 ◇

令和2年4月より、いじめ・虐待や教職員の体罰・不適切な指導など、児童・生徒や保護者からの相談に対し、速やかな問題解決を図るため、流山市教育委員会にスクールロイヤーやスクールソーシャルワーカーを配置した「いじめ防止相談対策室」を開設しました。開設に伴い、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤーが学校訪問を行い、スクールソーシャルワーカーの業務内容や活用の仕方について周知したり、スクールロイヤーによる教職員に向けてのいじめ防止の研修会を実施したりと積極的な活動を行っています。

「学力・気力・体力」の流山の教育を推進するため
学びに向かう力と自立する子どもを育む

興味・関心

課題意識

探究心

集中力

連続性

資質・能力の育成

- 主体的・対話的で深い学び
- 生きて働く知識・技能の習得
- 論理的な思考力の育成
- 国際社会に対応した教育の推進

教師力の向上

- 感性(人間的魅力)を高める
- 専門性の向上
- 特別支援教育の充実

心と体の育成

- 豊かな人間関係づくり
- 表現力を育む多様な体験活動
- 命と健康を大切にす教育
- 未来に生きる体力の向上

学力

気力

体力

つながりのある教育の推進

- 地域と共につくる安心・安全な学校体制づくり
- 保幼小中つながりのある教育の積極的推進
- 中学校区の特徴を生かした活動の推進

